2025 年 1 月

「METALEX2024（タイ）に見たタイ製造業の動向」

今回はタイ製造業の動向という視点で 11 月 20 日～23 日にかけて開催された ASEAN で最大の工作機械・金属加工技術イベントである『METALEX 2024』をレポートします。38 回目の開催となる今回、出展社数は 2023 年の 766 社から 743 社に減少しましたが、来場者は 2023 年の 98,686 人から 101,937 人へと増加しました。カウント上は 3.3%程度の増加なのですが、実際に訪問すると明らかに来場数は増加しており、少なくとも日系ブースで聞いた限りでは全社昨年より明らかに訪問対応、名刺交換数も増えているとの事でした。しかし、タイ国内の自動車産業の不振等から製造業景気は概して悪いため、タイ国内各企業が現状打開の情報収集を積極的に行っているという背景も大いに関係していると言えそうです。また後述の通り中国やインドからの訪問が増加しているためそちらも増加要素の一つとして挙げられます。

その他、主な出展社の国籍を昨年と比較し表示しますと下記となります。ただし、自社国籍は複数自己申告が可能なため、各国籍は申告数の延べ社数となります。

2023 年 （計 766 社）	中国 213 社、日本 175 社、タイ企業 103 社、台湾企業 88 社、ドイツ企業 71 社、米国企業 52 社、韓国企業 48 社
2024 年 （計 743 社）	中国 253 社、日本 175 社、タイ企業 151 社、台湾企業 99 社、ドイツ企業 96 社、米国企業 50 社、韓国企業 59 社

明らかに中国企業が増加していますが、増加分の実際の印象としては「中国地方自治体から補助金などの後押しで出展したとみられる、タイ法人のない中国企業」が会場端の方に小規模のブースで多数出展しているという状況でした。端エリア自体の人通りは極端に少なく、会場での中国企業の存在感自体は昨年とあまり変化していない印象です（ただ昨年、中国企業の存在感が大きく増し、日系企業の間で大きな話題となりました)。

また、タイ企業が増加していますが、こちらは実際にタイローカル企業に聞いてみると「タイローカル企業の出展社集めに苦戦していたようで、主催企業から直接当社に声掛けがあったので出展した」という背景があるようです。更に出展料についてはネガティブな声もあり、ある日系省エネ関連商社からは「出展料が段々高くなり（最小 20 万バーツ 約 90 万円～)、費用対効果が薄いため来年は出展をとりやめる」という声もありました。また 2 年に 1 回の出展と明確に取り決めている日系大手企業もいくつかありました。来場者数の増加と同時に出展料も増加しているという点から、企業ごとの明暗がより表出してきていると言えそうです。

大阪産業局・タイビジネスサポートデスク　現地レポート

2025 年 1 月

↑METALEX2024 会場の様子